日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2013. 01. 09

No.13-003

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

日本航空の今

航空連「Phoenix267 号」より

コスト主義偏重で蝕まれる現場

ガマンではついていけない現実（客乗の職場）

CA の退職が続き、臨時便もはれない

退職相次ぎ運航維持も危機（乗員の職場）

訓練再開の回答後もパイロット流出が止まらない

足りない部品、増える流用（整備の職場）

置き去りのグループ社員（グランドハンドリングの職場）

東京高裁での闘いがスタート

全国の労働者から多くの支援

山口乗員団長・内田客乗団長が意見陳述

勝利をつかむ大集会に 700 名集う

日本航空契約制客室乗務員雇い止め裁判

東京高裁が不当判決 最高裁へ上告

航空連「Phoenix267 号」

原告団　年末にかけめぐる
近畿・東海道キャラバン

原告団は昨年 11 月 21 日から、全国キャラバンのはじめとして、国労 3 地本の支援により近畿・東海キャラバンをスタートさせました。各地で街頭宣伝、支援要請行動、集会などを行い 12 月 6 日、ゴールの「JAL 控訴審 12・6 勝利をつかむ大集会」（池袋みらい座）に到着、キャラバンの成功を報告しました。

因みにキャラバンの意義と目的は、JAL から整理解雇されたパイロットと客室乗務員からのメッセージを伝えるために実施され、キャラバンを通じて、JAL 不当解雇撤回裁判を知ってもらい、控訴審を勝利するための先鞭をつけることであり、そして整理解雇 4 要件をないがしろにさせない、首切り自由の社会を許さないという国民的大運動のうねりをつくることが目的です。

（JAL 不当解雇撤回ニュースより要約）

関連ニュース

JAL 不当解雇撤回ニュース

No. 220

No. 232

キャラバン報告

No. 233～240

今後の予定

2 月 7 日（木）

控訴審　パイロット 第 2 回口頭弁論

東京高裁 101 号法廷

14:30 ～ （傍聴券抽選 13:40）

3月 1日（金）

控訴審　客室乗務員 第2回口頭弁論

東京高裁 101号法廷

14:30 ～（傍聴券抽選 13:40）